

令和元年度 第5回細谷小学校学校運営協議会

1 開会

2 あいさつ 大栗 俊克 学校運営協議会会長

本年度最後の学校運営協議会。
2月29日の親子奉仕活動の際は、剪定ボランティアを募集してる。
ご協力をお願いします。地域、自治会の方の協力があるの学校。よろしくをお願いします。

蓬田みどり 細谷小校長

コロナウィルスの広がりが心配されている。本校では、インフルエンザの欠席は少ない。現在児童数54名。3年に2名転入があった。一日入学では、学区内4名。学区外2名希望者。小規模特認校として評価されていくためにもご意見をお願いします。

※(スライドで児童の様子を紹介)

失敗を恐れず、自分から挑戦していくことの大切さを年間を通して指導してきた。

3 協議

(1) 学校運営の細谷小状況等の評価について

【別紙参照】

- ・自ら学ぶ子の育成(学習面での課題)
読書習慣が身につけていない。特に、保護者の評価が低い。(学習面での課題)
- ・思いやりのある子の育成
学校外でのあいさつの指導が必要。(生活面での課題)
思いやりがあり、助け合って生活している児童は多い。

読書、あいさつ、きめ細やかな学習指導などが課題である。
学校評価を受けて、来年度力を入れたいところを考えていきたい。

(意見)

【あいさつについて】

- ・朝の登校中の様子では、あいさつの個人差が大きい。家庭や学校で継続して指導が必要。
- ・学校でも個人差が大きい。地域の方の言葉かけがありがたい。
- ・家庭内のしつけ、習慣の差が大きい。大人の姿を見ている。
- ・近所の子がよくあいさつしてくれる。家庭教育の勉強会で、自分から根気強くあいさつしていくことが大切と教わった。
- ・目を見てあいさつすることがよい。
- ・近所を散歩中出会う大人もあいさつしない人もいる。
- ・マスク、帽子を被って表情がわからないと挨拶をためらう。
- ・特に、冬場は、朝の登校を車で送る児童が多い。
- ・上台方面の児童、よくあいさつしてくれる。
- ・神社で遊んでいる子がよくあいさつしてくれる。
- ・学校に寄ったとき廊下であいさつしてくれる子が増えた。
- ・あいさつについては、家庭への啓発の継続をしていく。

【学校行事と児童の取組】

- ・卒業式の司会等は、どのように人選するのか。卒業式に出席すると子ども達がよくやっている姿を見る。
- ・児童数が少ないので、どの子も役割ができる。自主性が育つ。上級生の姿を見て、下級生が学んでいる。

【読書について】

- ・家で本を読まない。音読も短い。漫画は読んでいる。
- ・朝、図書室で本を借りるが、家には持ち帰らない。持ち帰る習慣がない。
- ・昔は、冊数をグラフ化したこともあった。
- ・親も読んでない。親がゲームしている。
- ・夜遅くまでゲームしている。石橋地区では、小中一貫教育の取り組みひとつとして、メディアコントロールに力を入れている。
- ・読書の良さを知らせるとよい。
- ・図鑑などからでも良いので、読書へのきっかけ作りを意図的に行うと良い。
- ・中高生になって必要性を感じて読むようになることもある。
- ・学校では、月1回、ボランティアの方に読み聞かせをしていただいている。下野市としても読書に力を入れている。来年度は学校でも積極的に取り組ませたい。

【体力づくりについて】

- ・細谷小は、投力が低い。ボール運動に取り組む児童が少ない。ボール運動への意欲を高めたい。市のスポーツ推進委員の前原さんに協力を依頼している。
- ・ボールを扱うゲームではティーボールなどもよい。
- ・放課後、外で遊んでいる姿を見ない。
- ・遊べる場所や公園がない。放課後は子ども達は、塾などで忙しいのではないか。
- ・下校時刻が早いときは、遊ぶことがある。自転車で行ける範囲で遊ぶ子もいる。
- ・ドロケイ、鬼ごっこなど昔からの遊びは体力が付いた。
- ・運動を習っている子とそうでない子の体力の差が大きくなっている。
- ・あやめ地区の児童は車での送迎なので、体力づくりが難しい。
- ・星の宮神社から学校まで歩いて登校するとよいか。
- ・4月から星の宮神社を集合場所として利用するのであれば連絡してほしい。
- ・学校の体育の授業は、週2～3回。クラブ活動も運動ばかりではない。授業中だけで体力づくりするのは難しい。

【放課後の過ごし方について】

- ・学校で預かりの希望調査を実施したところ、日によって4～7人の希望があった。木、金が多かった。ボランティアの希望者は3人。実施できるかは未定である。ボランティアがあれば、スポーツ的なものをやれるとよい。
- ・小規模特認校としての取り組みのひとつとして実施できるか。
- ・地域住民の中にボランティアできる人があると一番良い。退職者になるか。
- ・公民館で活動している方は高齢の女性の方が多い。児童の求める活動とは違うものが多い。
- ・預かりを実施するには、市のバックアップが必要なのでは。
- ・ボランティアを集めるには、目的をはっきりさせてからの募集がよい。
- ・現在、月曜日の6校時、更生保護女性会の方や教職を退職された方、大学生に協力してもらって預かりを実施しており、大変助かっている。
- ・ボランティアを募集方法として、自分のできること、得意なこと等を聞くのはどうだろうか。協力できるものを自己申告してもらう方法もある。
- ・学校にボランティアの協力を申し込む方法として、電話の他、回収ボックスを作るなどの案はどうか。

(2) 情報交換・その他

- ・自治会の会長さん、橋本地区は継続。細谷、上台は交替。
- ・壬生町藤井小のPTAの取組が参考になる。ホームページ等で見られる。

(3) 地域学校協働活動推進員より

- ・他校の児童で「きのこ」にとっても詳しい児童がいた。読書に偏りがあってもよい。興味があれば、子どもでも大人顔負けの知識を身に付けることがある。子どもの興味・関心を伸ばすことが大切。
- ・成長するには、よい習慣づくり。家庭での習慣化が大切
- ・「おはよう」のあいさつの他に「ありがとう」も言える子に。
- ・自己有用感が子どもも大人も大切である。

(4) 令和2年学校運営協議会委員の選出

4 今後の予定

- ・ 3月11日（水）学校適正配置推進協議会地域説明会 18：30
- ・ 3月19日（木）細谷小卒業式 9：30

5 閉会